

子どもアドボカシー 基礎講座

基本的な定義・制度・考え方など幅広く学べる

子ども(当事者)の生の声や想いを知れる

ワークで学びをしっかりと定着できる

自分のペースで進められる!
いつでも、どこでも学びやすい
オンデマンド版



子どもアドボカシーとは?

子どもの意見や考えを傾聴し、子ども自身が声をあげられるようサポートする活動のことです。子どもアドボカシーを実践する人を「アドボケイト」といいます。

対象

子どもアドボカシーに興味のある方
アドボケイトとしての活動を考えている方
子どもに関わる行政や関係機関、施設、学生の方も歓迎
これまでの講座では、子育て中の方や学校教員の方などにも受講いただいています!

受講料

基礎講座パック料金 [一般非会員] 15,000円
[一般会員] 14,000円 [24歳以下] 無料
気になる講義のみ受講の場合 1講義2,000円~

申込方法

[事前申込制] 気になる講義だけ受講するのもOK!
左記QRコードより、対象の講座を購入してください
※購入の際に、コエテコカレッジへの登録(無料)が必要です
(申込締切) 2025年7月1日まで

受講方法

オンデマンド動画の視聴+ワーク
※ご自身のPCやスマートフォンで受講可能
※ワークは、修了証の取得を希望する方のみ必須
※配信期間は2025年8月28日まで(延長の可能性あり)
慌てないで取り組めるように、早めのお申込をおススメいたします

10月1日 火

受付開始

お申し込みはこちら▶



受講者のみなさまの声

もともと子どもアドボカシーについて関心がありましたが基礎知識もない状態でした。このセミナーを受講して疑問に思ったことや、深めたいと感じたことなどを、改めて洗い出すことができ、次のステップに進めました。



児童相談所で児童福祉司として子どもたちと関わっています。面接のときに役立てられるものが多分にありました。



ボランティアで子どもとかかわる機会があるので、セミナーで学んだ、子どもとの対話を実践していきたいです。

主催

NPO法人全国子ども
アドボカシー協議会



HPは
こちら▶



お問合せ
はこちら▶



アドボケイトについて

現在、アドボケイトとして活動する対象は社会的養護を受けている子ども(施設や里親家庭で生活している子ども)がメインとなります。児童福祉法の改正で、2024年から「児童の意見聴取等の仕組みの整備」が実施されており、社会的養護を受けている子どもたちへの措置や処遇について、子どもの意見や考えを聞くことが盛り込まれました。その一環として、児童相談所や施設、里親から独立した第三者であるアドボケイトが子どもたちの意見形成・意見表明をサポートする制度(意見表明等支援事業)が全国各地ではじまっています。本講座は、アドボケイトの養成を1つの目的にしています。一方で、本講座は社会的養護について知らないという方にも受講いただけるように構成しています。子どもに関わる全ての人に役立つ講義も多くありますので、保護者や学校教員など多くの方に受講いただきたい講座です。

講座の内容

本講座は、こども家庭庁発表の「アドボケイト(意見 意向表明等支援)における研修プログラムの策定及び好事例収集のための調査研究報告書」に基づいた講座です。

講義No.	講師名	講座タイトル
1	相澤 仁 山梨県立大学・大分大学 特任教授	アドボカシーの定義 理念 独立・専門・訪問アドボカシーの概要
2	菊池 幸工 国際インケアユース交流コーディネーター	アドボカシーの取組例(海外)
3	池田 清貴 くれたけ法律事務所 弁護士	人権・子どもの権利の理解と 子どもの権利擁護
4	浦弘文 奈良市こどもセンター・弁護士	アドボカシーに関連する制度等
5	鈴木 香奈子 子どもアドボカシーをすすめる会TOKYO	各自治体における児童福祉行政の理解 (概要編)
6	川瀬 信一 子どもの声からはじめよう 代表理事	アドボカシーの基本的な態度 技術
7	小澤 いぶき 児童精神科医・こども家庭庁アドバイザー	多様な子どもの理解とその権利擁護 -子どもの発達への理解-様々な生きづらさ等への理解
8	田邊 紀華 一般社団法人 Masterpiece IFCA	多様な子どもの理解とその権利擁護 -障害を持つ子どもへの理解
9	小野 アンリ Proud Futures 共同代表	多様な子どもの理解とその権利擁護 -LGBTQへの理解
10	中村 みどり Children's Views & Voices 副代表	社会的養護当事者・経験者から見る 社会的養護やアドボカシーの現状 (概要編)

修了証の発行と その後のステップ例

全講義の視聴とワークの提出をした方に、修了証を発行いたします。
本修了証の取得は、より実践的な内容を学ぶ「養成講座」を受講するために必要です。



基礎講座修了



養成講座



アドボケイトになる・ご自分の職場や家庭等で活かす